

指定管理者からの令和 7 年度事業報告概要

施設名	特別史跡旧閑谷学校
施設所在地	備前市閑谷 7 8 4

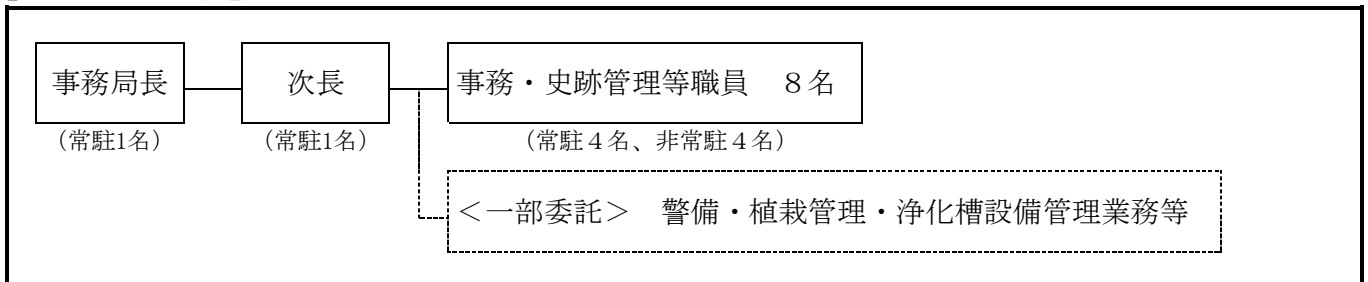
【指定管理者の概要】

名 称	公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会	代表者	理事長 國友 道一
所在地	備前市閑谷 7 8 4		

【指定管理の概要】

指定期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日	報告期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
管理業務の内容	特別史跡旧閑谷学校の ・管理及び公開に関すること ・行為の許可に関すること ・運営に関すること ・普及啓発に関すること		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		入場		合 計
許可件数	7 年度	60, 302		60, 302
	6 年度	63, 435		63, 435
	増 減	△ 3, 133		△ 3, 133

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設等の維持管理業務	・昼夜間の巡視業務 ・建物の小修理業務 ・草刈り清掃業務 ・樹木の剪定業務 ・入場料徴収等窓口業務 ・史跡内の案内 ・施設設備の保守点検業務
施設等の利用状況	・釈菜（せきさい）、読初（よみはじめ）の儀の開催 ・閑谷学校に関する資料の収集及び整理
自主企画事業	・閑谷論語塾 ・文化講演会 ・早春を愛でる会 ・閑谷マルシェ ・閑谷学校ライトアップ ・史跡ボランティア研修会 ・閑谷おもしろゼミナール

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	入場料		合 計
収 入 額	17, 532, 670		17, 532, 670
利用件数	60, 302		60, 302
減 免 額	2, 473, 880		2, 473, 880
減免理由	高齢者（6 5 歳以上）		

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		7 年度	対前年度増減額	6 年度	備 考
収 入 額 A		31,901,126	2,150,667	29,750,459	7 年度収入額 ・指定管理料のうち賃金及び物価の上昇に応じた増額分 2,216,886円 (財源は全額国庫) ・キャッシュレス決済の手数料分の補填 74,068円 ・その他の主なもの指定管理法人の他会計からの振替による増 4,800,000円 7 年度支出額 ・その他の主なもの各種税 935,400円 【主な増減内容等】 (収入) ・指定管理料(耐震診断実施に伴う入場者数減を見据えた増額分)の減 △3,212,000円 (支出) ・賃金上昇に伴う人件費の増 2,067,432円
内 訳	指定管理料	7,767,886	△2,162,948	9,930,834	
	利用料金収入	17,458,602	△665,431	18,124,033	
	事業収入	277,200	△71,800	349,000	
	その他	6,397,438	5,050,846	1,346,592	
支 出 額 B		31,948,642	966,062	30,982,580	
内 訳	人件費	20,670,426	2,067,432	18,602,994	
	管理運営費	7,898,420	△455,553	8,353,973	
	事業費	2,444,396	△307,117	2,751,513	
	その他	935,400	△338,700	1,274,100	
収 支 額 A－B		△47,516	1,184,605	△1,232,121	
県への納入金		0	0	0	
実質的な県負担額		5,625,068	△3,145,413	8,770,481	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守状況	B	関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	緊急時対策マニュアルの整備、防火訓練の実施など、安全性を確保した管理が履行されていた。
	④財産の適切な管理	B	除草や掃除の徹底、日常的な巡回により早期の異常発見に努めるなど適切な管理が履行されていた。
導入効果	①利用状況	C	地元観光協会等との連携や報道機関への広報活動、ホームページへのイベント情報の掲載などにより入場者の増加に努めたが、前年度比やや減となった。 【利用者数】 R7：60,302人←R6：63,435人←R5：63,769人←R4：64,024人←R3：59,958人←R2：53,587人←R1：88,431人
	②収支状況	C	コロナ禍前である令和元年度との比較では利用料金収入は減少しているものの、管理業務を自前で実施するとともに、支出を最小限に抑える努力をしている。
	③サービス向上	B	職員やボランティアによる史跡の案内、多言語に対応したホームページやパンフレットの整備によるインバウンド対応、SNSを利用した積極的な情報発信等によって、サービスの向上が図られた。
管理運営業務全般		B	協定書、事業計画書、収支計画書に基づき、適切に管理運営業務が履行されている。コスト意識をもった業務の遂行やサービス向上への取組が認められる。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。
 C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。